

研究課題名	先天性ムコ多糖症および先天性神経代謝疾患における自閉傾向-知的退行と脳内慢性炎症の関与についての研究（多施設参加臨床研究）
研究の意義・目的	この研究は先天性ムコ多糖症の方が知的障害や自閉症様症状を呈する原因をあきらかにすることを目的にしています。原因が明らかになることで新たな治療法の開発につながる可能性があります。本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2014年4月～2025年3月に下記の研究機関で、先天性ムコ多糖症、その他の先天異常症候群・神経代謝疾患、自閉症スペクトラムを有する方の診断や治療のため通院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	大阪公立大学医学部附属病院が共同研究の代表機関として研究を行います。 共同研究機関から試料や情報の提供を受けて研究を行います。 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：【血液、髄液、病理組織など】 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、MRI画像など】
試料・情報の他機関への提供	他の機関に試料や情報の提供は行いません。
この研究を行っている共同研究機関	国立成育医療センター ライソゾーム病センター長 奥山 虎之 国立成育医療センター 遺伝診療科医長 小須賀 基通
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学 瀬戸俊之
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床遺伝学 研究責任者：瀬戸 俊之 電話番号：(06) 6645-3816 FAX：(06) 6636-8737